



大坪 国広 議員 (日本共産党)

健やかな子供の成長をめざして



町長 あらゆる可能性を模索し
待機児童ゼロを目指す



園庭で元気に遊ぶ子供たち (石畑保育園)

質問 未来をになう子供たちのため、更なる子育て支援策の充実をめざして、次の2点について町長の所見を伺う。

問① 保育園の待機児童ゼロ対策について、現状と問題点、今後の具体的な対応策をどのよう

に検討しているか。
町長 0歳児から2歳児までの保育を担う人材の確保、保育所に勤める方々の給料が多摩地域では都内より低いこと、継続的に経営で

きることなどが課題。町は、認可保育園の増設や認定保育所の認可保育園への移行支援で定員拡充、幼稚園での一時預かり保育など、あらゆる可能性を模索し、待機児童ゼロを目指す。

町長 現時点では新たに施設を建設する予定は無い。引き続き既存施設を活用しながら事業の展開を目指していく。

問② 児童館について、施設確保でなく機能確保に重点を置くことで移動児童館を実施している。子供にとって、施設あつてこそ仲間づくりや交流の場となる町の西側地域に児童館を増設する必要があると考えるが。

町長 現時点では新たに施設を建設する予定は無い。引き続き既存施設を活用しながら事業の展開を目指していく。

卒業式の様子 (第一小学校)



下野 義子 議員 (公明党)

楽しく安心して「孫育て」できるように「祖父母手帳」の作成を



町長 成功事例を注視し
有効な施策を研究していく

質問 近年、子育ての常識は大きく変化し、親世代と祖父母世代の意見のずれ違いも多く、祖父母世代のサポートがマイナスに働くケースも見られる。「孫育て」は沢山の愛情が育まれる、親の負担軽減、祖父母の生きがいなどメリットも多い。今と昔の子育ての違いや親世代との上手な関わり方などを知って、祖父母世代が楽しく安心して「孫育て」ができるよう「祖父母手帳」の作成や祖父母学級の開催などを提案したい。町長の所見を伺う。

共通の認識を持つことが必要である。現時点では、改めて祖父母手帳の作成や祖父母学級を開催する予定はないが、今後、母子保健事業などで得られる、親および祖父母世代の声を参考に、他自治体で成功した事例などの情報も注視しながら、祖父母世代の方が元気に育児支援や参加ができるよう、有効な施策について研究していく。



おばあちゃんと砂遊び



小川 龍美 議員 (公明党)

熱中症対策として小・中学校に冷水機の設置を



教育長 現在は設置を考えてはいないが適切に対処したい

質問 年々、夏季の気温の上昇が続く中、子供たちの熱中症が増えている。熱中症を防ぐにはこまめな水分補給が大切である。また、熱中症予防には、高温の環境下における深部体温の上昇を抑制することが重要であり、水

教育長 町内の小・中学校では、教室全てに空調機器が整備され、児童・生徒は、年間を通じ学習に適した環境で授業を受けている。熱中症対策として水筒の持参を認め、施設対策では、安心でおいしい冷たい水道水が飲めるよう、受水槽を通さ



保健センターに設置の冷水機

ない水飲栓の水道管直結化を進めている。冷水機は夏場以外の維持や衛生管理もあり、現在は設置を考慮していないが、今後の気象状況をしっかりと確認し、適切に対処したい。

町長 31年度、全農家を対象とした意向調査を実施する予定。把握した内容をもとに研究していく。



森 巨 議員 (自民新政会)

学力向上事業の検証と自己評価制度導入の検討を



教育長 授業方法の工夫と改善を指導・助言していく

質問 町教育委員会で、学力向上を最重要課題と受け止め、毎年多額の事業費を支出している。しかし、小学校については一定の成果が見られるものの、中学校入学後は全国平均を下回る結果が多い。その要因の一つに学校の通知表の評価基準が不透明で、生徒の努力の方向性が見えないことが起因していると考えられる。そこで次の2点を教育長に伺う。

問① 学力向上事業の検証と課題は。
教育長 町独自の学力調査を中学校全学年で実施したことで、生徒の学習定着状況を把握し、実態に即した指導ができた。学習目標・

問② 通知表に自己評価、相互評価制度の導入を検討を。
教育長 通知表とは別に、各学期末の振り返りとして自己評価を実施している。その際、相互評価の要素を取り入れていく学校もある。各学校に授業方法の工夫と改善を指導・助言していく。



卒業式の様子 (第一小学校)